

物流の健全化へ

日本3PL協会 和佐見会長を再任



あいさつする和佐見会長

日本3PL協会（和佐見勝会長）は5月16日、都内港区のメルパルク東京で2018年定時

総会を開き、17年度事業報告・決算、18度事業計画・予算を承認可決し、9社の新入会員を報告した。

また、任期満了に伴う役員改正では、新任理事2人（川村勝弘アスタイル執行役員、藤田浩二モンコー常務）を含む9人の新理事を選出し、会長に和佐見勝氏（丸和運輸機関社長）を、副会長に山崎唯氏（カンタホールディングス常務）、専務理事に加藤信一郎氏（日本3PL協会）を選任した。

和佐見会長は懇親会のあいさつで「業界一番の問題は、間違いなく人手不足だ。一方、原油価格変動などはコスト増となる要因として避けられない。解決の糸口は、運賃・料金の改定

テーブルに着かなければならない。顧客とともに次代を見据えた物流の健全化をつくり上げていく必要がある。本会も会員のためにバックアップしていく」と意欲を示した。併せて、外国人研修制度の受け入れも視野に、業界運営の方向性を示唆した。当日は、重田雅史国交省物流審議官が来賓として祝辞を述べ懇談に入った。

である。我われが適正運賃の収受到に努力しない限り、諸問題は解決しない。運転者不足を引鉄として、交渉の